

北海道高等学校文化連盟第19回全道高等学校英語弁論大会 (弁論の部・ディベートの部) 実施要領

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道千歳高等学校
- 3 日 時 1日目 平成30年 11月2日(金) 10:30~15:50
2日目 平成30年 11月3日(土) 10:30~15:50
3日目 平成30年 11月4日(日) 9:00~15:30
- 4 会 場 北星学園大学 〒004-0042 札幌市厚別区大谷地西 2-3-2 TEL 011-891-2731

- 5 日 程
- 1日目
- | | |
|-------------|-------------|
| 10:30~11:00 | 受付 |
| 11:00~11:15 | 弁論の部開会式 |
| 11:15~11:45 | 弁論発表 1~4 |
| 12:00~12:30 | 弁論発表 5~8 |
| 12:30~13:20 | 昼休み |
| 13:20~13:50 | 弁論発表 9~12 |
| 14:00~14:30 | 弁論発表 13~16 |
| 14:40~15:10 | 弁論発表 17~20 |
| 15:30~15:50 | 弁論の部表彰式・閉会式 |
- 2日目
- | | |
|-------------|-----------------|
| 10:30~11:00 | 受付・ディベートジャッジ打合せ |
| 11:00~11:15 | ディベートの部開会式 |
| 11:25~12:35 | 予選第1試合 |
| 12:35~13:15 | 昼休み |
| 13:15~14:25 | 予選第2試合 |
| 14:35~15:45 | 予選第3試合 |
| 15:55~16:45 | 交流会 |
- 3日目
- | | |
|-------------|----------------|
| 9:00~ 9:20 | 受付・準備 |
| 9:20~10:30 | 予選第4試合 |
| 10:30~11:30 | 集計・予選会場片付け |
| 11:30~12:40 | 準決勝 |
| 12:40~13:20 | 昼休み |
| 13:20~14:30 | 決勝 |
| 15:00~15:30 | ディベートの部表彰式・閉会式 |

※時間は変更の可能性があります

- 6 交通手段 【北星学園大学】地下鉄東西線「大谷地駅」下車 1番出口 徒歩5分

【弁論の部実施要領】

- 1 当 番 校 北海道千歳高等学校
〒066-8501 千歳市北栄 1 丁目 4 番 1 号 TEL 0123-23-9145 FAX 0123-23-2742
- 2 参加資格 (1) 各地区の代表者であること。
(2) 英語のネイティブスピーカーは不可。
- 3 各地区からの出場者数
(1) 地区大会の参加者数が 10 名以下の場合 1 名
(2) " 11 名から 20 名の場合 2 名
(3) " 21 名以上の場合 3 名
- 4 参 加 費 1,000 円
- 5 演 題 地区大会で発表したものとする。原則として内容の大きな変更は認めません。タイトルとテーマの変更がない限り多少の訂正を認めますが、提出後の変更は一切認めません。
- 6 制限時間 4 分 30 秒～5 分 30 秒。
開始後 4 分 30 秒で 1 回、5 分で 1 回、5 分 30 秒で 2 回ベルを鳴らします。スピーチを続けることはできますが、減点の対象となります。
- 7 審 査 (1) 審査基準

① 内 容 (Content)	10 点
② 英 語・態 度 (Delivery)	10 点
③ 応 答 (Q & A)	4 点
④ 時 間 (Time)	1 点
合 計	25 点

※スピーチ及び応答 (Q&A) にマイクを使用します。
※Yes-No、Wh-、How の区別なく質問は 2 つされます。

(2) 審 査 員 今年度より、審査団は 8 名程度で構成するものとし、そのうち英語を母国語とする審査員を 1～2 名含みます。専門委員を含め経験ある教員を審査員に加えるものとし、その教員の学校の生徒が競技に参加している場合、その生徒については審査をしないこととします。各審査員による審査ポイントのうち、最も高いものと、最も低いものは全体の審査に反映させないこととします。審査ポイントの平均点が生徒の得点になります。
- 8 表 彰 1 位から 5 位を表彰します。特別賞 1 名
上位 2 名は、第 12 回全国高等学校英語スピーチコンテスト (2 月 10 日 (日)) への出場権が与えられます。
- 9 申込方法 全道大会の出場権を得た生徒の責任教師は次の 2 点を大会事務局にメールで提出してください。
(1) 出場申込書 (国際交流専門部の HP (<https://kokusaikouryu.jp.net/>) よりダウンロードしてください。)
(2) スピーチ原稿 [A4 縦 横書き (余白 22mm, 文字数 44, Word にて作成)
タイトル・名前・学校名・本文の順にお願いします。添付ファイル名は学校名+生徒氏名
※メール送信先: 事務局 千歳高校 高椋勇一 takamuku6969@gmail.com
- 10 申込締切 平成 30 年 10 月 12 日 (金) 出場申込書+スピーチ原稿をメールで提出ください。
支部の開催時期により申込が間に合わない場合は事前にお知らせください。
- 11 申 込 先 千歳高校 高椋勇一 不明な点は事務局まで問い合わせ下さい。千歳高校 TEL 0123-23-9145
- 12 そ の 他 過去の全道大会のスピーチ原稿等資料が必要な方は事務局にお問い合わせください。

【ディベートの部実施要領】

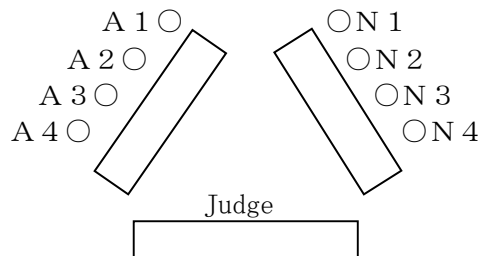
- 1 当 番 校 北海道千歳高等学校
〒066-8501 千歳市北栄 1 丁目 4 番 1 号 TEL 0123-23-9145 FAX 0123-23-2742
- 2 参加資格
 - ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する 3 年生までの生徒。
 - ・英語のネイティブスピーカーは不可。
 - ・以下の海外生活経験者等の条件に該当するものはチームに 2 名まで。
 - (1) 英語を第 1 言語とする国で 12 ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - (2) 英語を第 2 言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - (3) 家庭で常用的に英語を使っている生徒
 - ただし、試合には該当生徒のうち 1 名のみが出場できる（該当の 2 名は交代で出場できる）
- 3 チーム構成
 - ・各校 2 チームまで。（※参加チーム数が奇数の場合例外あり）1 チーム 6 名まで。
 - ・原則として試合への出場は 4 人で、試合毎にメンバーの入れ替えは可能（ただし、チーム登録できる選手が 3 人しかいない学校についてのみ、例外を認める）。
 - ・他校との合同チーム編成可（但し、全国大会へは出場できません）。
- 4 対戦方法 予選 4 試合を行った後、上位 4 チームが決勝トーナメントへ進む。
- 5 論 題

Japan should legalize voluntary active euthanasia.
「日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化すべきである。是か非か。」

※付記事項、追加ルール等の補足・詳細については全国高校生英語ディベート連盟ホームページ <http://henda.global/> を参考にします。
- 6 競技規則 競技は全国高校生英語ディベート連盟の「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行うものとする。上記の連盟ホームページを参考にしてください。
- 7 参 加 費 1 チームにつき 3, 0 0 0 円
- 8 申し込み 参加申込書に必要事項を記入し、1 0 月 5 日（金）までに大会事務局にメールで提出して下さい。
なお大会について不明な点は札幌国際情報高校 木村までお問い合わせ下さい。また、申し込みが奇数校だった場合、出場校を偶数にそろえるため、さらに 1 チーム追加出場させることを希望する学校は、申込書にその旨を記載してください。
※出場申込書は（国際交流専門部の HP（<https://kokusaikouryu.jp.net/>）よりダウンロードできます。）
※メール送信先：事務局 千歳高校 高椋勇一 takamuku6969@gmail.com
- 9 選抜方法 参加校数（チーム数ではない）に応じて、全国大会出場枠が与えられる。
- 1 0 賞 1 位・2 位にカップ+賞状、3～4 位に賞状を授与。
その他、個人賞としてベストディベーター賞を選出。上位校は、1 2 月 1 5 日（土）～1 6 日（日）に福井県で行われる全国大会への出場権が与えられます。
- 1 1 そ の 他
 - (1) 地区大会を開催する支部もありますが、地区順位にかかわらず参加可能です。
 - (2) 昼食は各自お持ち下さい。
 - (3) 上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入り下さい。
 - (4) 宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。
 - (5) 今後の英語ディベート普及のため、多くの先生方・生徒の皆さんの見学を奨励しています。
ふるってご参加下さい。1 日のみの見学も可能。
 - (6) 引率でこられた先生方にもジャッジをお願いすることがあります。
 - (7) 複数チーム参加する学校は、複数のジャッジをお願いします。

発言の順番

A：肯定側



N：否定側

発言者	役割と内容	時間
A	①肯定側立論 (メリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
N 4→A 1	②否定側質疑 (否定側からの質問に肯定側A 1が答える)	2分
N 1	③否定側立論 (デメリットは2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
A 4→N 1	④肯定側質疑 (肯定側からの質問に否定側N 1が答える)	2分
	準備時間	2分
N 2	⑤否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3分
A 3→N 2	⑥そのアタックへの質問 (肯定側A 3からの質問に否定側N 2が答える)	2分
A 2	⑦肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3分
N 3→A 2	⑧そのアタックへの質問 (否定側N 3からの質問に肯定側A 2が答える)	2分
	準備時間	2分
A 3	⑨肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
N 3	⑩否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
	準備時間	2分
A 4	⑪肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分
N 4	⑫否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分

4 2分